



集中して 誰よりも早く札を取る

1月12日(土)

泉西公民館で第32回子ども百人一首大会が開催され、泉町の児童・生徒ら30チーム137人が参加しました。競技は4人1組のトーナメント方式で行い、4人の取った札の合計で競います。勝ち上がっていくほどに札を取るスピードが速くなり、熱気を帯びていきました。

1位から3位までのチームには、盾と育成会メンバー手作りのメダルがそれぞれ贈られました。



思い出のお皿を作ろう

1月18日(金)

駄知幼稚園で園児が上絵付け体験を行いました。同町で製陶業を営む方の協力により、卒園・進級の時期に毎年行っているもので、今年で12回目を迎えました。園児は13cmほどの素焼きの皿に、陶芸用パステルで虹や花、笑顔などを個性いっぱい描くと、裏に名前と日付を書いて完成させました。皿は焼成した後、園の思い出として子どもたちにプレゼントされます。



どっちが先にゴールするかな

1月19日(土)

巨大すごろくあそびが妻木児童館で行われ、幼稚園児と小学生合わせて10人が2チームに分かれて競い合いました。縦1.4m・横2mのすごろくは、子どもたちにお正月遊びを体験してもらおうと、児童館職員が1年間かけて手作りしたものです。子どもたちはサイコロを振るたびに立ち上がったリジャンプしたりと大いに盛り上がっていました。



たすきをつないで 駄知町を一周

1月20日(日)

新春の駄知町を町民ランナーが駆け抜ける、駄知町一周駅伝大会が、大寒らしい寒さの中、開催されました。28回目を迎えた大会には、小学生男子、中学生男・女、一般男子、独走の各部門に211人が参加。駅伝は、6人がたすきをつなぐ6.3kmのコースで競われ、選手はスタートの号砲に合わせて勢よく飛び出して行きました。



心をつなぐ幸せご飯

1月16日(水)

シルバー人材センターの子育て支援センター「だっこっこ」による料理教室が下石公民館で行われ、未就園児のお子さんを持つお母さんたちが、変わり三食丼、えび団子入りの吸い物など4品を作りました。お母さんが料理中、子どもたちはだっこっこのおじいちゃん・おばあちゃんと触れ合い、すっかり仲良しに。楽しく遊んでお腹をすかせると、笑顔でご飯を味わっていました。



Voice

今日作った料理を、子どもがとても喜んで食べてくれてうれしかったです。おじいちゃん・おばあちゃんや、同じ年くらいの子とも触れ合うことができ、楽しかったようです。

1月13日(日)

笑顔で祝う 20歳の門出

平成25年の成人式典が文化プラザで行われ、新成人569人が参加しました。式典では、新成人代表が中学校時代の恩師にインタビューをすするコーナーが企画され、印象にある出来事などを質問して当時は懐かしみしました。新成人へのメッセージを求められた恩師からは、「人とのつながりを大切に」「自分で決めたことをコツコツ続けて欲しい」と、大人として生きるための温かいエールが贈られていました。

